

スの中止に遭い、キャンパス閉鎖で友人をつくる機会を喪失し、本来の授業・学修を経験することなく、毎日長時間PCやスマートフォンの画面を見続けた結果、身体的・精神的な疲労の蓄積に苦しみ悩んだ。これまでもの報告によると、新入生が抱いたことは、①友人ができな、孤独感、生活にメリハリがないなどのコミュニケーションとメンタルヘルスに関する不安、②遠隔授業の不慣れ、通信環境の不備、学修での知識やスキル修得の懸念、課題の多さ、教員とのコミュニケーション不足などの学修に対する不満である。

筆者の所属する初年次教育学会では、昨年11月次教育の課題と展望」をオンライン開催し、学会誌(第13巻)では「コロナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

①については(1)感染対策を講じた対面型の9月入学式(今年度改めて実施する大学もある)や新生歓迎会、オンライン交流会(2)SNS・Web会議システム・メールを活用した悩みの把握と相談受付、(3)学生ピアサポート(一人暮らしのアドバイス、課題やレポート作成の取り組み方、サークル紹介など)学生目線での情報提供)などを実施し、不安の解消に努めた大学が多い。また教員だけではなく、総長や学長が直接あるいはオンラインで語りかけて新入生に寄り添い、これに保護者の参加を促す大学もあった。

②については、(1)新入生の対面授業の優先実施(2)学生の意思を尊重する新たな手法を示唆して成功事例だけではない

重した学びの保証(対面と遠隔授業の自由選択)(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

①については(1)感染対策を講じた対面型の9月入学式(今年度改めて実施する大学もある)や新生歓迎会、オンライン交流会(2)SNS・Web会議システム・メールを活用した悩みの把握と相談受付、(3)学生ピアサポート(一人暮らしのアドバイス、課題やレポート作成の取り組み方、サークル紹介など)学生目線での情報提供)などを実施し、不安の解消に努めた大学が多い。また教員だけではなく、総長や学長が直接あるいはオンラインで語りかけて新入生に寄り添い、これに保護者の参加を促す大学もあった。

②については、(1)新入生の対面授業の優先実施(2)学生の意思を尊重する新たな手法を示唆して成功事例だけではない

重した学びの保証(対面と遠隔授業の自由選択)(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

コロナ禍における初年次教育

その事例と想起させられた問題

次教育に潜在化する諸問題と遠隔授業の自由選択(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

①については(1)感染対策を講じた対面型の9月入学式(今年度改めて実施する大学もある)や新生歓迎会、オンライン交流会(2)SNS・Web会議システム・メールを活用した悩みの把握と相談受付、(3)学生ピアサポート(一人暮らしのアドバイス、課題やレポート作成の取り組み方、サークル紹介など)学生目線での情報提供)などを実施し、不安の解消に努めた大学が多い。また教員だけではなく、総長や学長が直接あるいはオンラインで語りかけて新入生に寄り添い、これに保護者の参加を促す大学もあった。

②については、(1)新入生の対面授業の優先実施(2)学生の意思を尊重する新たな手法を示唆して成功事例だけではない

重した学びの保証(対面と遠隔授業の自由選択)(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。



藤本元啓氏

次教育に潜在化する諸問題と遠隔授業の自由選択(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

①については(1)感染対策を講じた対面型の9月入学式(今年度改めて実施する大学もある)や新生歓迎会、オンライン交流会(2)SNS・Web会議システム・メールを活用した悩みの把握と相談受付、(3)学生ピアサポート(一人暮らしのアドバイス、課題やレポート作成の取り組み方、サークル紹介など)学生目線での情報提供)などを実施し、不安の解消に努めた大学が多い。また教員だけではなく、総長や学長が直接あるいはオンラインで語りかけて新入生に寄り添い、これに保護者の参加を促す大学もあった。

②については、(1)新入生の対面授業の優先実施(2)学生の意思を尊重する新たな手法を示唆して成功事例だけではない

重した学びの保証(対面と遠隔授業の自由選択)(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

次教育に潜在化する諸問題と遠隔授業の自由選択(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。

①については(1)感染対策を講じた対面型の9月入学式(今年度改めて実施する大学もある)や新生歓迎会、オンライン交流会(2)SNS・Web会議システム・メールを活用した悩みの把握と相談受付、(3)学生ピアサポート(一人暮らしのアドバイス、課題やレポート作成の取り組み方、サークル紹介など)学生目線での情報提供)などを実施し、不安の解消に努めた大学が多い。また教員だけではなく、総長や学長が直接あるいはオンラインで語りかけて新入生に寄り添い、これに保護者の参加を促す大学もあった。

②については、(1)新入生の対面授業の優先実施(2)学生の意思を尊重する新たな手法を示唆して成功事例だけではない

重した学びの保証(対面と遠隔授業の自由選択)(3)PC操作講習会、ナ禍における初年次教育」の特集を組んだ。その主たる関心は先述と同様、①メンタルヘルスを中心とした支援と②新生入生にとっての有効な授業形態にあった。